

令和7年度 課題研究(探究 AKCⅡ β:2年理型)



● 期日

令和7年9月～

● 場所

岡崎高校 各教室等

● 参加者

岡崎高校2年生理型全生徒、職員

● 内容

2年生理型による課題研究(探究 AKC II β)が実施されています。生徒たちは「数学」・「物理」・「化学」・「生物」の4つの分野に分かれてグループ研究を行っています。令和7年度は、

「美しい三角形」

「バスの遅延を数学的に解析して遅刻を減らす」

「授業中に指名されやすい座席の傾向」

「「魚くさい」を生む物質の機能に迫る！」

「光触媒による水中有機汚染物質の分解と効率」

「ペルチエ素子による温度勾配が反応速度に与える影響」

「飲料によるサプリの溶解度の変化」

「ナイロンシャトルと羽根シャトルの性質の違い」

「弓道の矢における質量と威力の関係」

「チョークによる異音の発生する原因とその対策」

「プラナリアの咽頭の受容体はどこにあるのか」

「玉ねぎにおけるアミロペラストの移動速度を測定する」

「使い捨てカイロを用いて鉄肥料の作成とその効果の検証」

など、ユニークなテーマが並びました。

それぞれの班が学校で学んだ内容や日常生活から課題を発見して仮説を立て、自分たちの立てた仮説を検証するため、創意工夫を凝らして実験を行っていました。現在は課題研究で得たデータを解析し、まとめ作業などを行っています。